広報紙

JAやまがた

1 2024 January

管内（山形市・上山市・山辺町・中山町）の組合員の方々にお届けします

特集 新春座談会 直売所20周年 おいしさ直売所生産者協議会の皆さまを迎えて

インフォメーション 令和5年分確定申告相談会の開催について

旬の料理 シチューのルーでかんたんお餅グラタン

おいしさ直売所
公式LINE

広報紙 JAやまがた　2024／1月号　発行／山形農業協同組合　〒990-8535 山形市旅篭町1-12-35　TEL.023-641-3121　FAX.023-631-4714　https://www.jayamagata.or.jp/

シチューのルーでかんたんお餅グラタン

旬のお手軽クッキング

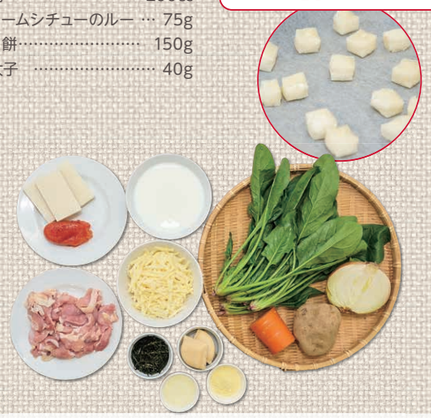
JAやまがた

材料

4人分（作りやすい分量）

ほうれん草	1/2束	サラダ油	大さじ1
じゃがいも	1個	ピザ用チーズ	100g
人参	1/3本	粉チーズ	大さじ1
玉ねぎ	1/2個	きざみ海苔	適量
鶏もも肉	150g		
水	400cc		
牛乳	200cc		
クリームシチューのルー	75g		
切り餅	150g		
明太子	40g		

お餅は焦げない程度のやわらかさに。電子レンジでもOK!



作り方

1. じゃがいもと・人参・玉ねぎ・鶏もも肉はひと口大に切る。ほうれん草は下茹でしてしぼり4㎝に切る。
2. フライパンにサラダ油を引き鶏もも肉、じゃがいも、人参、玉ねぎを炒めて水を入れて煮る。人参が軟らかくなったら牛乳とルーを入れて沸騰させ濃度を調節する。
3. 切り餅を8等分に切ってオーブンで焼く。
4. 耐熱容器にサラダ油を塗り、ほうれん草を下に敷き餅を並べたら❷の具材を流し込んで明太子をトッピングし上からピザ用チーズと粉チーズをかける。オーブンまたはオーブントースターで焦げ目が付く程度まで焼く。
5. 焼きあがったら、きざみ海苔をトッピングしてできあがり!

やけどに気をつけてあつあつを召し上がれ!

お正月の残りのお餅を使いましょう。

ほうれん草は下茹でをすると、エグみがとれます。

山形学院高校フードデザインクラブ（通称FDC）

FDCは、食べてみたい作ってみたい料理を1・2・3年生みんなでアイデアを出しあいレシピを作ってたのしく調理する山形学院高校の部活動です。

ごあいさつ

山形農業協同組合
代表理事組合長
岡崎 輝明

新年あけましておめでとうございます。組合員ならびに地域の皆様方におかれましては、新年を穏やかにお迎えのことと拝察し、心よりお慶び申し上げるとともに、常日頃より農協事業に対する格別なるご理解とご協力を賜っておりますことに、改めて感謝を申し上げます。この一年が、組合員の皆様をはじめJA事業をご利用の皆様、地域の皆様方にとって災いのない実り多い年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

令和5年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行したことに伴い、コロナ前の制限のないイベント等が県内各地で開催されるようになりました。当JAでは、5月に第26回通常総代会を、出席数制限を行わず、4年ぶりに通常開催にて行うことが出来、総代の皆様から多くのご意見を賜り、有意義な開催となりました。剰余金処分では、出資配当、有事等による肥料・飼料・資材や燃油等の高騰対応策も兼ね事業分量配当を実施いたしました。

更には、「地域活性化への貢献」の一環として、おいしさ直売所落合店に於いて、「一升餅背負いの集い」を二日にわたり開催し、225名のお子様に参加いただきました。また、各支店、地域単位で「ふれあい祭り・農協祭り」を開催。農作物の即売会や様々な催し物、キッチンカーなどが出店され、組合員および地域の皆様、若い世代の家族連れで大いに賑わいを見せておりました。ご協力いただきました各地区組織役員の皆様、農家生産者および関係者各位に、改めて感謝申し上げます。

営農面では、昨年も気象災害に悩まされた年でありました。春の凍霜害、夏の高温障害、更には秋の突風による被害等、農作物全般に様々な障害が発生し収穫量が減収となりました。そんな中、販売力強化として、各生産組織と協議を重ね、重点市場を12社に集約し、有利販売に努めてまいりました。また、山形市長とのトップセールスを含め、関係市場等に出向き、市場関係者との意見交換会や百貨店での消費宣伝を行い、一元販売体制による有利販売、各選果場を活用した付加価値販売の強化に努めてまいりました。直売事業では、各種イベント等を通じて「LINE友達」登録を促し、5000人を突破するとともに集客に努め、更には、生産者協議会20周年の節目として、改めて生産者の皆様と連携の強化を確認した次第です。直販事業では、米穀および農畜産物全般にわたり、自治体と連携し「ふるさと納税」事業へ積極的に取り組んでまいりました。

農政活動においては、「食料・農業・農村基本法」見直しに向け、食料安全保障の強化や、生産コストを適正に反映した価格転嫁の重要性や仕組みづくり等、県内および全国の大会において、与党はじめ県選出議員へ要請を行ってまいりました。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実践に向け、継続して取り組んでまいります。

令和6年度は、第8次中期経営刷新計画の実践最終年度であります。JAを取り巻く環境が急激に変化している中、迷走することなく、財務の健全化無くして組合員サービスは出来ないことを勘案しながら、「早期警戒制度」を見据えた自己改革工程表の進捗を把握し進めてまいりたいと思います。

今年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。「甲」は第1位であり、優勢であることを表しているほか、真っすぐに堂々とそり立つ大木を表しています。「辰」は十二支で唯一架空の生き物、龍（竜）を意味し、水や海の神と祀られ、竜巻や雷など自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであります。「甲辰」には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」縁起のよさを表しています。社会全体が成長し、成功という姿に整えられることを期待するとともに、役職員一丸となって持続可能な協同の成果を実現できるよう取り組んでまいる所存です。今後とも多大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和6年　元旦

新春座談会
New Year's Discussion

直売所20周年 おいしさ直売所生産者協議会の皆さまを迎えて

2023年、当JA「おいしさ直売所」が開店から20周年を迎えました。新鮮で安心安全な農産物の販売や、生産者と消費者をつなぐ拠点として愛されてきた「おいしさ直売所」のこれまでを振り返り、おいしさ直売所生産者協議会の皆さまにお話を伺いました。

●前左／組合長　岡崎 輝明　1953年生まれ。山形市南二番町で妻らと暮らす。2013年代表理事専務、2019年5月代表理事組合長就任。好きな言葉は「意思あるところに道は拓ける」。
●前右／おいしさ直売所生産者協議会 会長　深瀬 嘉明　山形市印役町　就農：昭和55年　ニラ、枝豆、ほうれん草、ルッコラ、ものすけ（カブ）などを栽培。趣味は渓流釣りと昆虫採集。
●後中央／おいしさ直売所生産者協議会 副会長　吉田 裕昭　山形市飯塚町　就農：昭和54年　ぎゅうり、中玉トマト、ほうれん草、ブロッコリーなどを栽培。趣味は国内旅行。
●後左／おいしさ直売所生産者協議会　副会長　遠藤 芳浩　山形市大森　就農：平成26年　いちご、さくらんぼ、すもも、中玉トマトなどを栽培。　趣味はモンテディオ山形ホーム戦観戦など。
●後右／おいしさ直売所生産者協議会　副会長　酒井 春美　山形市上東山　就農：平成20年　菊切花、ベビーリーフ、アスパラ菜などを栽培。趣味は家族旅行、ガーデニング。

オープン当時の南館店

驚きのスタートから活気ある直売所へ

組合長　おいしさ直売所生産者協議会の皆さまにおかれましては、ご多忙のところお集まりいただき誠にありがとうございます。11月22日に開催された直売所の20周年祝賀会においては盛大な会が催され、皆さまの思い出のお話をお聞きし、20年の歴史が築かれてきたことを非常に嬉しく思ったところでございます。さて、直売所が20周年を迎え、今の皆さまのお気持ちをお聞かせください。

深瀬　開店初年度の売り上げは南館店のみで1100万円でしたが、現在は3店舗まで増え、売り上げが20億円に近づいています。売上額の上昇には本当に驚いておりますし、直売所会員の生産者の方々も頑張って出荷してくれるようになったんだなと感じます。

吉田　最初、南館店がオープンした時は古い倉庫のような店舗から始まったのですが、今思えばそこからの反骨精神で頑張ってこられたのかなと思います。店舗も3店舗まで増えるとは誰も予想していなかったと思いますし、南館店が新しくなった時ここから改めて始まるんだと感じ、生産者も気合が入ったように思います。

組合長　当時の南館店は集荷場を改装して造ったため古い建物で、電源も契約電流が30アンペアだったそうです。様々な照明を付けるとよくブレーカーが落ちていたと聞きました。そのようなトラブルもありつつスタートし、20年の歳月を経て将来を見据えて新たなスタートを切れるということは非常に嬉しく思っております。

遠藤　私はこの仕事を始めて10年ほどですので、20年前当時のことは分かりませんが、吉田さんが言う通り最初に南館店に行った時は店舗が古くて驚きました。店舗が新しくなり、気合が入るきっかけになったと思います。最初は当時の仕事が休みの日に出荷に行っていましたが、仕事を辞めて毎日直売所に行くようになると多くの方と関わる機会が増えました。スタッフや生産者の方々と色々な話が出来るのは直売所ならではだと思います。

組合長　酒井さんはどのような関わりで直売所会員になられたのですか。

酒井　私の義理の父が会員だったのですが、病気をして手術をきっかけに私と交代することになりました。会員になって一番インパクトがあったのは、働いている方々にすごく活気があることでした。その場にいるだけでも楽しくなるような雰囲気で、最初の印象がすごく良かったです。お客様も楽しく買い物できたと思います。

独自の工夫で個性をアピール

組合長　職員が元気で活発だと褒めていただけるなんて、そんな嬉しいことはありません。ありがとうございます。

組合長　時期によって出荷される品目が集中することもあると思いますが、出荷する際の工夫などはありますか。

吉田　出荷を始めて5年ほどは、どうしたら売れ残りが減るか考えながらの出荷でした。最初は私の名前で会員登録していましたが、あえて妻の名前に変えてお客様に柔らかい印象を持ってもらい、手に取りやすいようにしました。

組合長　直売所に並ぶ商品に生産者のオリジナルシールが貼ってあるのを目にします。

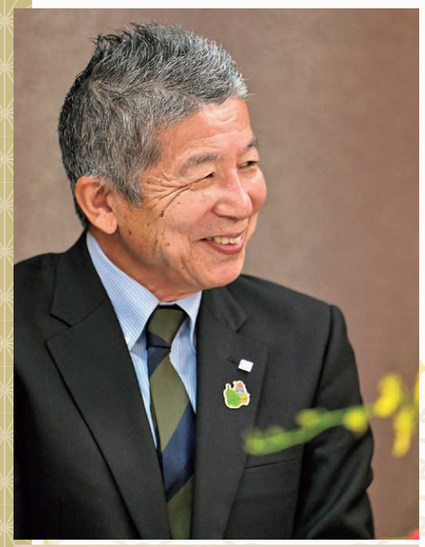
吉田　私は自分が生産したきゅうりだと分かるようなシールを貼ったり、袋を変えたりするなどの工夫をしていました。

酒井　遠藤さんと私の所は「高瀬産」と書いてある黄色いシールを貼っています。住所は上東山ですが、お客様は上東山の場所が思い浮かばないと思うんです。

遠藤　私の住所は大森なのですが、大森よりも高瀬の方が皆さん分かってくれます。シールを見たお客様は、空気のいい所で作る野菜はおいしいというイメージで手に取ってくれます。それから、束ねるテープを特注で作りました。お客様から私の白いテープを探して買っていくんだと言ってもらえるので、やって良かったと思います。

深瀬　私のところでは冬場にハウスで促成のニラを栽培しています。もともとは市場を中心に出荷していましたが、週末に直売所へ出荷するとどんどん売れる様になり、市場への出荷から直売所一本に絞るようになりました。少量多品目的に生産する人には直売所はとても良い場所だと思います。

組合長　直売所では生産者自ら、自分の作ったものに値付けをしていただいています。お客様には直売所で新鮮な農産物を買っていただき、スーパーとは一味違うと感じていただければと思います。直売所の意味はそういうところにあるのではないでしょうか。市場ではそうはいきません。



深瀬　現在はニラを少し減らしまして、冬場は他の作物をハウスの中で作るような形で対応しています。赤根ほうれん草やものすけ（カブ）などもものすけは手で皮をむいて食べられるカブなんです。ルッコラなど少量多品目にシフトしています。

組合長　同じ品目が集中すれば価格的に厳しくなるでしょうから、個性のある品目を作って出荷してもらえれば消費に繋がると思います。生産者任せばかりではなく、当JAも営農指導やアドバイス等をしていく必要があると思います。

深瀬　農薬、肥料の使用や営農指導など、直売所の生産者に向けてもう少し対応していただければと思います。特に、新しく会員になる方は勉強になると思いますので、肥料の使い方や栽培方法など優しく教えていただけるとありがたいです。

雰囲気づくりで直売所ファンを獲得

組合長　このところ消費者の考えも変わってきて、直売所も変化していかなければならないと思いますが、直売所が変わって来たと感じる部分はありますか。

深瀬　最近特に直売所を楽しみに来て下さる「直売所ファン」が増えてきたなと感じます。SNSでの情報配信の効果もあり、若い子育て中のお客様がだいぶ増えてきた気がします。

組合長　当JAの若手職員がブランディングチームを立ち上げ、LINE友達の募集を行い、現在5000名を超える登録者がいます。合わせて、「じゃうるず」というキャラクターの企画もブランディングチームが行いました。直売所のみならず、農協祭りやふれあい祭りにも参加しながら当JAの宣伝全般を担っています。直売所では毎週のように何らかのイベントを開催しています。キッチンカーも並び、若いニューファミリー層の方々が野菜はもちろん、その雰囲気を楽しんでるように感じます。来店者数も増加していますので今後も様々な企画を考えていきたいと思っております。

遠藤　ただ食材を買うだけならスーパーで事足りますし。直売所には、スーパーにはないものを求めて来店されていると思いますので、農産物の入荷情報やキッチンカーの情報などを発信していくべきだと思います。SNSの「いいね」の数をもう少し増やしていきたいところです。

組合長　そのあたりも継続して取り組んでまいります。

深瀬　沖縄とか四国とか他県のJAの食材が並んでいますよね。あれも珍しくて面白いと思います。

組合長　JAグループとして様々な取引関係の中で、スーパーにはない珍しいもの、例えば沖縄の商品などを

販売しています。そのような品ぞろえは私も間違っていないのかなと思います。お客様から、直売所に行くと働いている方に元気があって親切で良いですねとよく言っていただけます。それは非常に嬉しいことで、さらなるサービス向上にむけて頑張ってまいります。

深瀬　我々は生産するのは得意ですが、販売するのはなかなか口下手なところがあったりする人も多いです。食育ソムリエの資格をもった直売所スタッフがお客様からの質問に答え、商品を勧めてくれて本当に助かっています。コロナ禍の間は出来ませんでしたが、試食用の料理を作って出してくれたりするので、それも大変助かっています。

酒井　スタッフの皆さんは特別な教育などは受けるんですか。

組合長　コロナ前は、ＰＯＰの書き方や接客方法の研修会などを行っていました。深瀬会長のお話にもありましたが、食育ソムリエの資格を取得してもらい、直売所スタッフとしての知識を取得しています。

直売所が情報交換の拠点に

深瀬　直売所から買ってきた野菜がおいしいと、そのラベルシールを冷蔵庫に貼っておいて、次回買いに行く際にその生産者の名前を探して購入してくださるお客様がいるそうです。

組合長　今までの話にも重複する部分がありますが、皆さんにとって直売所はどのような場所でしょうか。

遠藤　ずっと家にいると家＝仕事場なんです。ずっと家にいるよりも直売所でスタッフの方と話したり、生産者も集まってくるのでとても息抜きになります。私は直売所に行くのが楽しみです。

組合長　たしかに、生産者の皆さんは同じような時間に集まるわけで、そこで情報交換するのは非常にメリットのあることだと思います。

遠藤　他の生産者が持ってきた商品を見て売れ行きを知ることができるし、それを見て自分の作付け量を調整するための情報を得ることができます。さくらんぼの値段は1キロいくらで売っていたとか、売り場を確認してからラベルを作り始めます。それもすごく大事です。

酒井　私は直売所にほぼ毎日行くんですが、日中の仕事って私一人だけで、話す人がいないんです。それが直売所に行けばコミュニケーションも取れるし、みんなと話しをすることで勉強にもなるしすごく良い場だと感じます。

組合長　朝の慌ただしい中でしょうが、生産者にとっては貴重な時間だと分かりました。

食べてもらっておいしさを広げたい

組合長　今後の直売所に求めるものがあるとすればどんなものがあるでしょうか。

深瀬　我々、生産者協議会のメンバーにも呼び掛けないといけないですが、商品が少ない時期の出荷を増やしていく必要があると思います。あと、果物もたくさん出ているのでスイーツなどを作って、常時出して欲しいです。生産者が作った果物を利用したケーキやタルトなど作っていただければ売れるのではないでしょうか。

遠藤　観光地に行くと必ずパフェなどお金を落とす所があります。果物など生産者から買い取りしてスイーツを作ったり、買い物以外にお金を落とすシステムを作った方がいいのかなと思います。

酒井　直売所には調理できるスペースがあるので、もっと活用していけたらいいと思います。

吉田　他の直売所に行ってみると、私たちももっと情報発信をしていかなければと思います。消費者だけでなく生産者にも食べてもらうと、もっと広がっていくのかなと思います。

酒井　お客様の声や消費者アンケートをやっていただけたら我々の勉強にもなるのではないでしょうか。

組合長　落合店については12月に駐車場を増設しました。当然、駐車場が増えれば来店者も増える訳ですから、今後も直売所に関して様々な取り組みを進めていきたいなと考えております。

本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。

やまがた農業支援センターからお知らせです

農地中間管理事業を活用してみませんか

農地中間管理事業とは、知事の指定を受けた公的機関である公益財団法人やまがた農業支援センター（山形県農地中間管理機構）が、所有者から農用地等を借り受け、まとまりある形で貸し付ける事業です。

令和7年から手数料のご負担をお願いします

農地中間管理事業の運営には、やまがた農業支援センターの自主財源を一部充当している経費があり、この負担が年々増加しています。このため、将来に向けて持続的、安定的にこの事業をご利用いただけるよう、利用者の皆様に一部ご負担をお願いすることといたしました。

なにとぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

詳しくは

やまがた農業支援センター（023-631-0697）、又はセンターのホームページをご覧ください。

家畜を飼っている方へ

家畜を1頭（羽）でも飼っている方は、毎年2月1日現在の飼育頭羽数などを県に報告する必要があります。前年に報告された方には1月末に用紙が送付されますので、頭羽数等に変更がある場合は修正の上、令和6年2月13日（火）までに山形県中央家畜保健衛生所へ郵送、FAXまたは電子メールで送付してください。新たに飼育を始めた方や飼育しているのに用紙が送付されなかった方は、お手数ですが当所へご連絡ください。

対象となる家畜の種類

牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬（ポニー含む）、豚（ミニ豚、マイクロ豚含む）、猪、鶏（烏骨鶏、チャボ含む）、うずら、あひる（カモ含む）、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥

お問い合わせ

山形県中央家畜保健衛生所
TEL.023-686-4410　FAX.023-686-5715
〒990-2161 山形市大字漆山736
メールアドレス：ymuraymakachiku@pref.yamagata.jp

理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

第10回理事会【11月27日開催】内容より

●報告事項
- 令和5年上半期ディスクロージャー誌の縦覧等にかかる対応について
- マネーロンダリングおよびテロ資金供与対策に関するアンケート内容報告について
- 役員部門別専門委員会委員の選任（後期）について
- 令和5年産米集荷状況について

●協議事項
- 山形県農業信用基金協会に対する増資について
- 総代選挙に係る日程表について
- 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」の一部改正について

組合員資格の確認について

組合員資格に変動があった場合は、当ＪＡの定款に基づき資格変更の手続きを行いますので、最寄りの本店・支店へお申し出ください。

お問い合わせ
経営管理部 総務課 TEL.023-624-8250

出荷証明書の配布について

出荷証明書の配布時期については、令和6年1月25日（木）に本店から支店に送付させていただきます。

お問い合わせ　各支店へ

JAやまがた令和5年分確定申告相談会の開催について

東北税理士会より派遣税理士を招いて確定申告（所得税・消費税等）相談会を開催します。

※相談会場につきましては、**本店および上山北支店の2会場となります。**感染症の予防を徹底したなかでの開催となりますので、ご不便をおかけしますが、何卒ご理解の程宜しくお願い致します。
※派遣税理士の検証を受けない確定申告書等は受理することはできません。
※消費税の申告は簡易課税のみの受付となります。
※受付は、完全予約制となっております。詳しくは各支店までお問い合わせ願います。

お問い合わせ
資産サポート部　TEL.023-624-8258

開催日	対象支店	会　場
2月6日（火）	宮浦支店・南館支店・山形南支店	本店 202・203会議室
2月7日（水）	東金井支店・ひまわり支店	
2月8日（木）	千歳支店・山辺支店	
2月14日（水）	鈴川支店・高楯支店・天神支店	
2月15日（木）	譲渡所得申告対象者	
2月16日（金）	滝山支店・西部支店・さくら支店・蔵王支店	
2月19日（月）	上山北支店・上山南支店	上山北支店
2月20日（火）	本店	本店 202・203会議室

■申告者控返却予定日　2月26日・27日・28日

管内の主な出来事をご紹介

JAやまがた NEWS TOPICS

11月30日(木)

農畜産物でエール！ 春高バレー出場校を激励

第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会に山形県男子代表として出場する県立山形中央高校を激励するため、当ＪＡとＪＡ山形市、ＪＡ共済連山形は激励品として県産米「つや姫」60キロ、「山形牛」10キロを贈りました。

当ＪＡの栗原秀行専務とＪＡ山形市の大山敏弘組合長、ＪＡ共済連山形の井澤義信副本部長が同校を訪問し、栗原専務から「山形牛」のパネル、大山組合長から「つや姫」のパネルと目録を選手に手渡しました。

栗原専務は「山形県の代表として中央高校の新しい歴史を残すべく頑張ってください」とエールを送りました。

11月13日(月)・14日(火)

女性総代と常勤役員 活発に懇談

11月13日と14日、管内4ブロックで女性総代と常勤役員との懇談会を開催しました。気軽に、活発に、自由に話せるようワイガヤ形式で行われた懇談会は、女性目線による地域やＪＡ発展のための意見を協同活動に反映させ、アクティブメンバーシップを強化することが目的です。

西部ブロックは女性総代13人、南部ブロックは女性総代8人、中央ブロックは女性総代9人、北部ブロックは女性総代7人が出席し、異常気象の被害に対する対応や営農指導・生産資材に関する要望、女性総代の役割や農産物の価格転嫁についての意見などが出されました。

当ＪＡは自己改革の取り組みの一環として、2019年度からワイガヤ形式での懇談会を行っています。これまで2019年は認定農業者、2020年は女性農業者、2022年は新規就農者と膝を交えて意見交換を行う懇談会を開催しています。

11月13日(月)

りんごの盗難防止 園地を夜間パトロール

中央果樹組合は11月6日から13日までに、りんご「ふじ」の盗難を未然に防ぐため、中央営農センター管内の大郷・東金井・明治・出羽の4地区で夜間パトロールを行いました。

13日は、大郷地区の園地を生産者2人と山形警察署大郷駐在所の職員、ＪＡ職員が午後6時半から巡回しました。途中、車を降りて不審な車や人影がないか、脚立やコンテナなどが出したままになっていないかを注意深く確認しました。

パトロールに参加した中央果樹組合の伊藤唯良組合長は「今年のりんごは小ぶりだが甘味は十分。多くの方に食べてほしいので、農作業道具を出しっぱなしにしない事など盗難対策に努めたい」と話しました。

〈パトロール実施日〉
11月6日（月）東金井地区
11月7日（火）明治地区
11月10日（金）出羽地区
11月13日（月）大郷地区

12月5日(火)

広域きゅうり部会 出荷反省検討会

広域きゅうり部会は、ホテルメトロポリタン山形で令和5年度の出荷反省検討会を開きました。同部会の各地区役員や市場関係者、ＪＡ役職員など30人が出席し、生育概況や販売実績、市場情勢について共有しました。

市場への質疑応答ではGAP（農業生産管理）や価格転嫁についての質問が出され、令和5年10月末時点の全作型合計販売実績は、数量137万キロ、総販売高4億4,700万円、平均単価326.1円と報告されました。

12月2日(土)

フラワーアレンジメント教室

おいしさ直売所生産者協議会は管内で生産された花に親しんでもらおうと、本店でフラワーアレンジメント教室を開きました。直売所の利用者30人が参加しました。

山形市の花屋（株）花泉COOPしろにし店の齊藤大介さんが講師を務め、花材には管内の生産者がつくった「ストック」や「ラナンキュラス」などを使いアレンジメントに挑戦しました。

齊藤さんは参加者に「玄関など室温が15度前後の場所で管理すると花を長く楽しめる。自宅で好きな花を足したりして楽しんでほしい」と話しました。

11月22日(水)

おいしさ直売所20周年記念大会を開催

当ＪＡおいしさ直売所が開店から20周年を迎えたことを記念し、おいしさ直売所生産者協議会は山形国際ホテルで記念祝賀会を開催しました。生産者や直売所関係者など129人が出席し、直売所の20周年を祝いました。

生産者協議会の深瀬嘉明会長は「ＪＡやまがた管内の生産者にとって、自分で生産したものに自分で値決めし小売りできる直売所の意は大きい。今後の直売所の未来はご出席の皆さまと共にある。これまで同様、皆で悩み考えながらより多くの方に親しまれる直売所にしていかなくてはいけない」と話しました。

祝賀会では、20年の歴史を振り返るムービーの放映や長年直売所に勤務するパートスタッフ６人の表彰、大曽根餅つき保存会による餅つきと振る舞いなどが行われました。

11月28日(火)

飯塚そ菜園芸組合 設立50周年祝賀会

「きゅうりの里」として知られる山形市飯塚地区の農家を中心に組織する、飯塚そ菜園芸組合が設立から50周年を迎え、山形国際ホテルで祝賀会を開催しました。組合員や市場関係者、ＪＡ役職員など30人が出席しました。

同組合の清水利光組合長は「皆さんと情報交換をしながら、長く続けていけたらと思う」と話しました。

農業情報

はつらつ！青年部

11月29日(水)　ＪＡやまがた青年部収穫感謝祭

青年部はホテルメトロポリタン山形で収穫感謝祭を開催し、青年部員や各支部事務局など60人が出席しました。

感謝祭は2年ぶりの開催となり、品種名を隠した米5種（つや姫、雪若丸、はえぬき、コシヒカリ、酒米）を食べ比べて品種を当てる米品種鑑定試食会などが行われました。

青年部の安達詠一部長は「収穫に感謝し、盟友と親睦を深め、情報交換を行い実りある会にしていただきたい」と挨拶しました。

品評会結果

やまがたフラワーフェスティバル2023　花き品評会

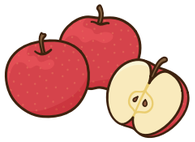
10月13日（金）、新庄市で開催された品評会で当ＪＡより5名の方が受賞されました。

【金賞】山形県知事賞　齋藤道成さん　上山市（トルコギキョウ）
【金賞】山形生花地方卸売市場社長賞　鏡寿樹さん　上山市（トルコギキョウ）
【銀賞】山形県花き生産連絡協議会長賞　渡邉凜太さん　山辺町（ワレモコウ）
稲毛昇さん　上山市（ハイブリッドスターチス）
佐藤昇さん　山形市（あじさい）

中央営農センター　第7回ジャンボキャベツコンテスト

11月11日（土）、中央営農センターでジャンボキャベツコンテストが開催されました。

【第一位】遠藤駿佑さん（7.2kg）　【第四位】酒井春美さん（5.8kg）
【第二位】東海林弘雄さん（6.6kg）　【第五位】渡辺浩司さん（5.4kg）
【第三位】鈴木弘さん（6.4kg）



令和5年度　山形県りんご「ふじ」品評会

11月16日（木）、ぐっと山形で開催された品評会で当ＪＡより1名の方が受賞されました。

【最優秀賞】農林水産大臣賞　多田正喜さん　山辺町

山形県牛枝肉共進会 遠藤さん

第46回山形県牛枝肉共進会

11月20日（月）、（株）山形県食肉公社で共進会が開催され、当ＪＡより1名の方が受賞されました。

【優秀賞】遠藤芳浩さん　山形市

令和5年度　南部営農センター　ラ・フランス食味コンテスト

11月24日（金）、上山南支店でラ・フランスの食味コンテストが開催されました。

【最優秀賞】黒田浩昭さん
【優秀賞】斎藤浩基さん・野本悟さん（糖度賞　最高糖度17.6度）
【優　賞】遠藤清志さん・黒田浩次さん

ラ・フランス食味コンテスト審査の様子

オススメ読書

購読申し込み
経済課
TEL.023-624-8567

シヅカ洋菓子店の
ビスケットと焼き菓子
素材を生かした、深くやさしい味わい
栗原代奈 著/岡部弘 著
良質な国産素材を使った、こだわりのお菓子が人気の港区三田にある「シヅカ洋菓子店」。素朴ながら洗練された味わいの焼き菓子のレシピを家庭で作りやすい分量、作り方で紹介。自宅で本格的な味が楽しめる。
定価（税込）1,760円

まんがでわかる
賀川豊彦と考えるボランティア
賀川豊彦とボランティア
実行委員会 監・著
日本の協同組合の父と呼ばれる賀川豊彦は、関東大震災の際に復興支援を呼びかけ被災地支援のあり方を模索した「ボランティアの父」でもあります。賀川の支援活動の先駆性や、現在まで続く影響をまんがで紹介。
定価（税込）600円

読者の広場

1月号のテーマ
雪

●長い長い夏が終わり、ようやく秋が来たと思ったらいきなり冬に。いつもと違う気候に戸惑いながら、せめて豪雪は勘弁して…と願ってしまいます。（山形市Aさん）

●東京と埼玉にいる孫たちがお正月に帰省すると雪遊びに大喜びではしゃいでます。みはらしの丘公園の小高い山でのソリ滑りは絶叫ですね（山形市Aさん）

●「ＪＡやまがた」をいつも楽しみにしている91歳の母は、本沢の「青菜漬」が食べたいと言っています。私もそのうちに買いに行こうと思います。（山形市Wさん）

●12月号の健康コラムは、気にしてはいたがなかなか出来なくて箇条書きで詳しくかかれてあり気を付けないとと改めて思った（山形市Sさん）

●ドライフルーツ食べてみたいなー（山辺町Oさん）

今月もたくさんのお便りをありがとうございました!

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

●**応募方法**／「ＪＡやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

2月号のテーマ
辰年

郵便　〒990-8535 山形市旅篭町一丁目12-35
Eメール　kikakukanri@jayamagata.or.jp

●**締切**／1月25日（木）（当日消印有効）

●**プレゼント**／「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下さった方の中から抽選で3名の方に**「おいしさ直売所商品券」1,000円分**をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

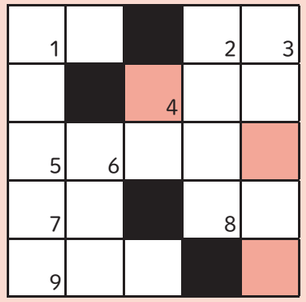
12月号クロスワードの答え：ほしがき

あとがき

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。
令和になり6年目を迎えました。時がタツ（辰）のは早いものです。今月は新春恒例企画の座談会で直売所生産者協議会の皆さんにお話をお聞きしました。直売所では今年も様々なイベントが開催されますので、皆さんぜひお越しください！

息抜き クロスワード

あみがけの□部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。



⬇タテのカギ

1 「○○○○○あると思うな親と金」独立と倹約を大切にせよとの教え。
2 手元にある現金。
3 邦楽の演奏に使う三弦の弦楽器。
4 鳥やけものなどを野山にとりに行くこと。
6 絵画などを実物どおりにまねて写すこと。

➡ヨコのカギ

1 土地がくぼんでいて、水のたまった所。
2 人の胴の下にあり歩いたり走ったりするときに使う体の部分。
4 名字「刈谷」の読み方。
5 災害から身を守ってくれる神。守護神。
7 師匠について教えを受ける人。
8 「必要性」は英語で「○○シティ」。
9 麦や大豆を水に付けて暗いところで芽を出させたもの。